

稼ぐ 1 あやせ産業連携プロジェクト

【目指す姿】

農業、商業、工業、市内外の関係機関との連携が進み、地域にある資源を生かした新たな「まちの魅力」が創出・発信され、多くの人々が訪れ、集い、にぎわいにあふれています。

綾瀬で生産されたものが様々な場所で販売され地域で活用されることで、地産地消の意識の高まりとともに「まちの魅力」や「住みやすさ」も向上し、シビックプライドも醸成され、定住人口や交流人口の増加につながり、活力あふれるまちになっています。

【取り組みの方向】

〈産業各分野の連携の推進〉

農・商・工 各分野の強みを生かした連携による「稼ぐ」を支援します。

◆主な取り組み

- 産業連携に係るプラットフォームの構築
- 新商品開発支援事業
(グルメ商品や特産品、名産品の開発)
- 地場産品活用推進支援
- 産業連携による6次化の支援
- 新技術の開発、新分野への進出の支援

〈「あやせ産業全体のブランド化」の促進〉

綾瀬の各産業を束ねて全体でブランド化するとともに広く発信することで「稼ぐ」産業を目指します。

◆主な取り組み

- 産業全体のブランド化に向けたコンサルタントの活用
- ガイドブックやメディア活用によるPRの推進
- アンテナショップ等の活用による対外的なPR
- イベントを活用したPRの推進

〈販路の開拓・販売促進〉

市内事業者の販路開拓等を促進することで実感できる「稼ぐ」に繋がります。

◆主な取り組み

- 見本市出展、産業商談会の推進
- 広域で商談・交流を行う機会の創出
- 経営改善や販路開拓コンサルタントによる経営基盤の支援
- 販売促進に繋がる取り組みに対する支援
- オンラインショップなどを活用した販路拡大

【期待される主な効果】

- ・市内産業の活性化と市内消費の拡大
- ・新たな創業、新商品開発がしやすい環境の形成
- ・本市の魅力、知名度の向上
- ・定住人口、交流人口、関係人口(注)の増加
- ・市内産業における競争力の向上

【現状・課題】

社会経済の環境変化等により、顧客ニーズが多様化している中、それらの変革に対応した個々の事業者支援のみではなく、各産業における連携強化やブランド力の向上など、本市ならではの産業活性化に向けたサポートが必要です。

今後、生産年齢人口の減少による市場規模の縮小と生産活動への影響も更に進むことが考えられることから、今後も競争力の高い産業を維持・発展させていくためにも先々を見据えた伴走型の産業支援を行うとともに、本市産業のブランド化や農商工各産業の連携推進に取り組む必要があります。

【取り組みの展開】

〈STEP 1〉

連携体制の構築

商工会や農協をはじめ、関係各機関との連携体制の強化を図り、産業連携体制の地盤づくりを進めます。

〈STEP 2〉

マッチングに対する支援

農商工の各事業者等による連携強化を推進するため、企業間や産学官のマッチングを支援します。

〈STEP 3〉

新商品開発への支援

中心市街地の活性化を見据えた市内事業者による新商品開発や6次化に対し支援を強化します。

〈STEP 1〉

ブランドイメージの検討

コンサルタントの支援を受け、商工会や農協とともに本市の産業、全体に係るブランドイメージについて検討を行います。

〈STEP 2〉

情報発信

ガイドブックやメディアを活用し本市産業の魅力を発信、本市産業のブランド化を図ります。

〈STEP 3〉

ブランドの活用

ブランドを活用した市内産業の競争力の強化を図るとともにブランドによるシビックプライドの醸成を図ります。

〈STEP 1〉

販路開拓ノウハウに対する支援

市内事業者における販路開拓について、専門家等による伴走型支援を行います。

〈STEP 2〉

販路開拓等への支援

市内事業者の積極的な販路開拓や販売促進に向けた取り組みに対して支援を強化します。

〈STEP 3〉

ブランドを活用した販路開拓の促進

ブランドを活用した販路開拓を推進するとともに更なる連携強化を図ります。

(注) 関係人口：地域に居住していないが、その地域に関心を持ち、地域とさまざまな形で関わる人々を指す。地域づくりの担い手になっていく可能性がある人々。